

して、一畳あたり、木造建築では三百五十キロワット毎時、コンクリート建築では二百五十キロワット毎時の能力をもつ暖房機器を選ぶのがよいといわれています。

## 5

**暖房機器の  
お手入れを！**

石油ストーブは、燃焼部分のお手入れに心掛けてください。空気穴がほこりでつまっていたり、しん先が不ぞろいだと、エネルギー



効果が低下するばかりではなく、不完全燃焼のおそれがあります。また、ガスストーブの場合も、空気取り入れ口をときどき掃除してください。

ストーブの中でも反射型ものは、反射板をよくみがいておきましょう。わずかな汚れでも反射効率に影響します。とよいでしょう。

## 6

**電気こたつの  
上手な使用を！**

電気こたつは、こたつ敷きなどの上に置いて使いましょ。保温効果が上がります。また、こたつ掛けも、厚手で大きめの綿製のものが効果的ですが、軽いアクリル系のものでも毛布を余分に掛ける



## 7

**電気毛布の  
強弱に御注  
意を！**

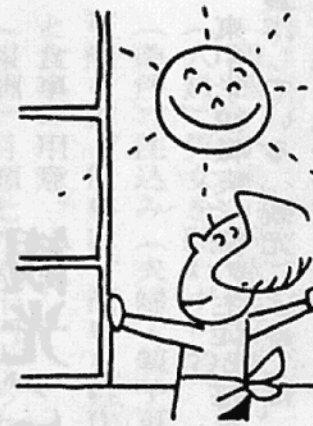
電気毛布を使う場合、おやすみ前にスイッチを「強」に入れて、暖まってから床に入るときは「弱」にして使う方が効率的で、しかも快適な使い方です。



## 8

**太陽の  
恵みを！**

冬でも、太陽があたればとても暖かくなります。このようなどは、カーテンをあけるなどして、太陽熱を十分に取り入れ、暖房エネルギーを節約しましょう。



## 9

**湯沸器の  
使い方に工  
夫を！**



## 10

**住宅に断熱材  
の使用を！**

瞬間湯沸器の口火をつけっ放しにして、ときどき消すのを忘れていませんか。安全の面からも再確認をお願いします。また、冷たい冬の時期に暖かいお湯は、本当に

新しく住宅を建てられる方また

断熱材の使用を！



ありがたいものですから、つい、たくさん使いがちで、お湯を流し放しにすることはありませんか。必要な分は、容器に取って使うなどして、ひと工夫しましょう。は増改築をされる方は、断熱材を入れることをおすすめします。断熱材を入れることによって、暖房費は半分程度も節約できます。現在、住宅にお住まいの方も、天井裏に断熱材を使用する程度であれば、素人でもできますので挑戦してはいかがでしょうか。

金融  
住宅  
公庫

断熱化工事で  
三十万円割増融資

省エネ融資

住宅金融公庫では、住宅を新築・増改築する際に、公庫で定めた断熱基準に適合する断熱構造化工事について割増融資を行っています。具体的には、天井または屋根、壁、床に断熱材を施工したり、窓を二重にするなどの工事を行う場

合、通常の融資額に最高三十万円の割増融資を行い、「省エネ住宅」づくりのお手伝いをしようというものです。詳しいことは、最寄りの住宅金融公庫業務取扱金融機関にお問い合わせください。